



第4給水場の役割

第4給水場は第1給水場から送られてくる地下水と、北千葉広域水道企業団から購入している江戸川の表流水(川を流れる水のこと)を混ぜ合わせて、泉町周辺エリアを中心に各家庭や学校などへ配水しています。

市内の給水場では一番新しい施設で、地震や災害時の停電に強く、いざと言うときに頼りになる大黒柱のような存在です。第4給水場は習志野市のこれからを大きく支えてくれる重要な役割を担っています。



給水塔から給水車へくみ入れる様子



市の花:アジサイ

異なる2か所の変電所から電源を確保しているので停電に強いです。

第4給水場

地震や停電に強い、頼れる大黒柱！



市の木:アカシア



QRコードから第4給水場の地図が出てくるよ♪



給水中の様子



応急給水栓

地震などの災害で断水が生じたときに、マラソン道路側の蛇口(応急給水栓)から直接水をお配りできるようになっています。

※給水の際には、ポリタンクなどの容器をご持参いただきます。

配水池

第4給水場の配水池(水をためる池のこと)は2基あり、1基あたりの容量は市内最大級です。外面にはナラシド♪ときらっと君の絵がデザインされてるのが特徴です。

容量:5,600m³×2基 合計11,200m³
これは、学校の25mプール約37杯分の容量です。

